

資料

「企業短期経済観測調査」(59年5月) の結果について

〔調査対象企業数…主要企業短期経済観測調査659社^(注)(回答率100%)
全国企業短期経済観測調査6,973社(回答率86.2%)〕

(概況)

主要企業をみると、製造業の業況判断は、引続き順調な改善を示しており、55年8月以来久方ぶりに小幅ながら「良い」超となった。また、これまで足踏みしていた非製造業も商社等を中心に幾分持直しを示した。先行き9月にかけては、両業種とも引続き改善が期待されている。

製造業の59年度上期売上げは、前回2月調査に比べ輸出を中心にかなり上方修正され、引続き高目の伸びが予測されている。また59年度上期の経常利益は、58年度下期伸長のあと、石油精製の季節的な低下もあってほぼ横ばいの見込みとなっているが、収益水準自体は2月調査に比べ上方修正をみている(石油精製を除くと引続き増益の予測)。

なお、製造業の59年度下期売上げ計画については、輸出を中心に伸びが鈍化するかたちとなっている。

一方、非製造業では、59年度上期の売上げが電力での58年度下期急伸の反動等から伸び悩む見通しとなっているが、収益は、季節的要因をならしてみると緩やかな回復基調が予測されている。

この間、59年度設備投資計画(全産業)は、2月時点の計画に比べ製造業を中心に伸びが幾分持直しをみている。ただ、業種間のバラツキはかなり大きい。

雇用面では、製造業の人員過剰感が漸次後退しつつあるが、雇用者数は製造

(注) 主要企業短観は5月調査より調査対象企業を以下のとおり拡充。

	従来	拡充後	追加数
製造業	350社	390社	+ 40社 (電気機械等加工業種)
非製造業	169	269	+ 100 (主に卸・小売、建設、サービス)
全産業	519	659	+ 140

これに伴い2月調査時の予測計数については全て拡充後のベースに改定。

なお、全国企業短観の調査対象企業は従来と同じ。

(うち中小企業)

製造業	3,850社	(2,039社)
非製造業	3,123	(1,302)
全産業	6,973	(3,341)

業、非製造業とも横ばい圏内の動きにとどまっている。

なお、企業金融面では、収益の改善基調等を背景に資金繰りの緩和感がさらに強まっている。

次に中小企業をみると、製造業の業況判断は、売上げ、収益の増加を背景に引続き順調に改善し、「悪い」超幅がほぼ解消した。非製造業も、徐々に持直しをみている。

こうした中で、59年度設備投資計画は、製造業では2月時点の計画に比べ大幅に上積みされ、伸びを高めている(5月時点の計画としては49年の調査開始以来初めて前年度を上回る水準)。これに対し非製造業は、建設、小売等を中心に依然として前年度を下回る計画にとどまっている。

1. 主要企業

(業況判断)

製造業の業況判断D. I. は、引続き順調に改善し、55年8月以来約4年ぶりに

主要企業の業況判断D. I.

(「良い」「悪い」%、()内は1期前調査時予測)

	58年 5月	8月	11月	59年 2月	5月	(予測) 9月ま で
製造業	(△29) △33	(△23) △29	(△12) △17	(△3) △4	(9) 11	21
食料品	△16	△19	△3	13	(0) 4	20
繊維	△46	△26	△11	3	(23) 26	26
パルプ・紙	△8	0	15	15	(38) 15	23
化学	△40	△30	△19	△8	(3) 8	19
石油精製	0	△50	△30	△20	(0) 0	0
窯業	△52	△57	△42	△10	(0) △10	9
鉄鋼	△69	△69	△58	△34	(△3) △15	0
非鉄金属	△52	△43	△28	△23	(9) 10	29
一般機械	△36	△33	△20	△11	(3) 2	10
電気機械	0	3	7	37	(47) 44	51
造船	△43	△57	△57	△57	(△71) △57	△57
自動車	△15	△5	5	5	(18) 36	46
精密機械	0	0	12	25	(27) 27	27
素材業種	(△37) △43	(△29) △38	(△17) △24	(△6) △11	(9) 7	17
加工業種	(△19) △20	(△13) △20	(△7) △8	(△1) 4	(10) 14	23

	58年 5月	8月	11月	59年 2月	5月	(予測) 9月ま で
非製造業	(△14) △10	(△6) △9	(△5) △8	(△6) △7	(5) 0	7
建設	△6	△13	△7	△14	(△20) △29	△12
商社	△9	△3	3	6	(14) 11	16
小売	△11	△16	△15	△10	(10) △7	0
運輸	△29	△27	△31	△29	(△21) △22	△17
電力・ガス	7	7	21	43	(21) 43	14
サービス	10	15	14	0	(30) 25	38

(備考)

素材・加工業種別区分は次による。

素材業種：繊維、パルプ・紙、化学、石油精製、窯業、鉄鋼、非鉄金属。

加工業種：食料品、金属製品、一般機械、電気機械、輸送用機械、精密機械、その他製造業。

小幅ながら「良い」超となった(「良い」-「悪い」社数構成比、58年11月 $\Delta 17\%$ →59年2月 $\Delta 4\%$ →5月 11%)。業種別には、加工業種の業況良好感が電気機械、自動車を中心に2月調査時点に比べさらに高まったほか、素材業種でも全体としてはこれまでの「悪い」超幅が解消するかたちとなった。なお、先行き9月にかけては、今回調査と同程度の改善幅が予測されている。

一方、これまで足踏みしていた非製造業の業況判断D. I.も商社等を中心に緩やかながら持直しを示した(同、58年11月 $\Delta 8\%$ →59年2月 $\Delta 7\%$ →5月 0%)。ただ、建設、海運では依然低迷が続いているほか、小売も緩やかな回復にとどまっている。なお、先行きは大方の業種で改善が期待されている。

(生産、売上げ、在庫)

製造業の生産、売上げは、1~3月急伸のあと、4~6月はその反動から伸び悩むかたちとなっているが、7~9月には加工業種を中心に再び増加が予測されている(季節調整済み前期比、生産59年1~3月 $+4.2\%$ →4~6月 $\Delta 1.3\%$ →7~9月 $+1.5\%$ 、売上げ同 $+4.7\%$ → $\Delta 1.2\%$ → $+3.5\%$)。この結果、59年度上期の売上げは、2月調査に比べかなり上振れし、58年度下期に続いて高目の伸びが見込まれている(同、58年度下期 $+4.6\%$ →59年度上期 $+3.9\%$)。内外需別には、内需もかなり上方修正をみているが、輸出がそれを上回って上方修正されており(主として電気機械、自動車)、引続き内需の伸びを上回る見込みとなっている。

なお、59年度下期の売上げ計画については、輸出を中心に伸びが鈍化するかたちとなっている。

主要企業・製造業の生産、売上げ

(季節調整済み前期比増減(Δ)率%、()内は2月調査時予測)

	58年 10~12月	59年 1~3月	(予測) 4~6月	(予測) 7~9月
生産高	1.1	(0.7) 4.2	(2.0) $\Delta 1.3$	1.5
売上高	0.4	(2.0) 4.7	(0.2) $\Delta 1.2$	3.5
輸出	0.2	(2.0) 5.5	(2.4) 1.7	$\Delta 0.6$
内需	0.5	(2.1) 4.5	(0.6) $\Delta 2.1$	4.8
素材業種	1.1	(0.1) 2.1	(0.3) $\Delta 0.5$	0.9
加工業種	$\Delta 0.2$	(3.9) 6.8	(0.1) $\Delta 1.7$	5.6

(季節調整済み前期比増減(Δ)率%)

	58年度 上期	58年度 下期	59年度上期(計画) 2月調査→5月調査	59年度下期(計画) 2月調査→5月調査
生産高	1.8	5.2	2.9→3.0	1.7→0.8
売上高	1.9	4.6	2.7→3.9	1.8→0.4
輸出	4.1	5.7	2.4→4.8	3.9→0.4
内需	1.2	4.2	2.7→3.7	1.1→0.3
素材業種	$\Delta 2.2$	3.7	1.4→3.1	0.0→ $\Delta 1.6$
加工業種	5.5	5.3	3.7→4.6	3.2→2.0

この間、製品需給に関する判断 D. I. は、引続き大方の業種で改善した。ただ、製品在庫の水準に対する判断 D. I. は 2 月調査の水準で横ばいとなっている(「過大」—「不足」社数構成比、2 月 15%→5 月 15%)。

主要企業・製造業の製品需給、製品在庫判断 D. I.

(%)

	58年5月	8月	11月	59年2月	5月	(予測)9月まで
製品需給判断 (「需要超」—「供給超」)	△ 59	△ 53	△ 45	△ 35	△ 30	△ 28
製品在庫水準判断 (「過大」—「不足」)	26	26	18	15	15	9

一方、非製造業の59年度上期売上げは、電力での58年度下期急伸(寒波の影響)の反動や建設の低迷等から伸び悩みが予測されている(季節調整済み前期比、58年度下期 +5.0%→59年度上期 +0.1%)。

主要企業・非製造業の売上げ

(季節調整済み前期比増減(△)率%)

	58年度上期	58年度下期	(計画)59年度上期
非製造業	△ 1.1	5.0	0.1
小売	1.7	1.8	2.1
建設・不動産	△ 6.5	9.1	△ 5.9
電力	2.6	3.9	△ 1.3

(企業収益)

製造業の58年度下期経常利益は、大方の業種でかなりの増益となった(前期比、58年度上期 △5.3%→下期 36.6%、石油精製を除く、同 +9.9%→+23.5%)。59年度上期については、石油精製の季節的な低下もあって前期比ほぼ横ばいの予測(同 △1.4%)となっているが、収益水準自体は 2 月調査に比べ上方修正をみている。なお、石油精製を除くと、売上げの増加や諸コストの落ち着き等を背景に引続き増益(同 +4.4%)が見込まれている。

一方、非製造業(除く電力・ガス)の59年度上期経常利益は、売上げの季節的な減少が響いて、前期比減益予想(△13.8%)となっているが、前年比では商社等を中心に緩やかに持直す(58年度下期 +6.3%→59年度上期 +18.7%)と予測されている。

主要企業の経常利益

(前期比増減(△)率%、< >内は前年比増減(△)率%)

	58年度	58年度下期	59年度上期(予測)	2月調査
	上期	2月調査→5月調査	2月調査→5月調査	比修正率
製造業	△ 5.3	25.5→36.6	3.2→△1.4	(+4.0)
除く 石油精製	9.9	15.8→23.5	7.1→ 4.4	(+4.0)
非製造業	< 25.0 △20.3	<16.1 36.9→45.7	<11.3 △16.4→△23.6	(-2.7)
除く 電力・ガス	<△11.3 △22.8	< 6.3 27.6→37.7	<18.7 △ 5.1→△13.8	(-2.0)

(設備投資)

58年度設備投資(実績)は、工事の繰延べ等から2月調査時点の計画に比べ大幅に下振れし、前年度を下回る水準に低下した(全産業前年度比△4.6%)。

一方、59年度計画については、58年度からの繰延べ工事の追加計上もあって2月調査に比べ伸びが幾分持直しをみている(全産業同+5.3%)。この間、業種別にみると、製造業で伸びが回復している(前年度比、58年度△8.2%→59年度+11.0%)が、これには電気機械やその関連業種の増加が大きく寄与している。一方、非製造業では大方の業種が引続き低調な計画にとどまっている(同△0.9%→0.0%)。

主要企業の設備投資計画(工事ベース)

(前年度比増減(△)率%)

	58年度	2月調査	59年度(計画)	2月調査	58、59各年
	2月調査→5月調査	比修正率	2月調査→5月調査	比修正率	度の修正率 の合計
製造業	△ 2.7→△ 8.2	(- 5.8)	0.3→ 11.0	(+ 4.5)	(- 1.3)
鉄 鋼	△ 5.1→△10.6	(- 6.7)	△22.3→△19.0	(- 2.4)	(- 9.1)
自動車	△ 9.6→△19.7	(-11.2)	△ 2.2→ 7.7	(- 2.3)	(-13.5)
電気機 械	17.0→ 13.0	(- 3.4)	13.3→ 30.8	(+11.5)	(+ 8.1)
非製造業	5.7→△ 0.9	(- 6.3)	△ 2.0→ 0.0	(- 4.4)	(-10.7)
電 力	11.4→ 1.3	(- 9.1)	△ 1.8→△ 1.0	(- 8.4)	(-17.5)
全産業	1.5→△ 4.6	(- 6.0)	△ 0.9→ 5.3	(- 0.1)	(- 6.1)
除く 電 力	△ 3.2→△ 7.3	(- 4.4)	△ 0.4→ 8.6	(+ 4.4)	(0.0)

(雇 用)

製造業の雇用人員判断D. I. は漸次改善をみている(「過剰」→「不足」社数構成比、58年11月18%→59年2月14%→5月13%)が、雇用者数は製造業、非製造業

とも依然横ばい圏内の動きとなっている(季節調整済み前期比、全産業59年3月末 $\Delta 0.2\%$ →6月末 $\Delta 0.4\%$ →9月末 $+0.2\%$)。

主要企業の雇用人員判断D. I.

(「過剰」―「不足」、%)

	58年 5月	8月	11月	59年 2月	5月	(予測) 9月ま で
製造業	23	22	18	14	13	9
素材種	24	23	21	17	15	11
加工種	22	20	14	11	11	8
非製造業	12	14	14	15	14	10

主要企業の雇用人員

(季節調整済み前期比増減(Δ)率%)

	58年 6月末	9月末	12月末	59年 3月末	(予測) 6月末	(予測) 9月末
製造業	$\Delta 0.2$	$\Delta 0.1$	$\Delta 0.1$	0.0	$\Delta 0.5$	0.3
素材種	$\Delta 0.6$	$\Delta 0.6$	$\Delta 0.3$	$\Delta 0.8$	$\Delta 1.3$	0.1
加工種	0.1	0.1	0.1	0.4	$\Delta 0.1$	0.4
非製造業	$\Delta 0.2$	0.0	$\Delta 0.3$	$\Delta 0.5$	$\Delta 0.2$	0.1
全産業	$\Delta 0.2$	$\Delta 0.1$	$\Delta 0.1$	$\Delta 0.2$	$\Delta 0.4$	0.2

(企業金融)

企業金融面では、資金需要が盛上りを欠く中で、収益が改善基調をたどっていることなどから、資金繰りに対する緩和感がさらに強まっている(「楽である」―「苦しい」社数構成比〈全産業〉、58年11月11%→59年2月15%→5月22%)。なお、金融機関借入金については依然減勢傾向が続いている(全産業〈除く電力〉、前年比、59年3月末 $\Delta 0.4\%$ →6月末 $\Delta 2.5\%$ →9月末 $\Delta 2.6\%$)。

主要企業の企業金融関連判断D. I. (全産業)

(%)

	58年 5月	8月	11月	59年 2月	5月
資金繰り判断 (「楽である」―「苦しい」)	8	11	11	15	22
金融機関の貸出態度判断 (「ゆるい」―「きびしい」)	38	41	43	41	45

主要企業の借入金残高

(前年比増減(Δ)率%)

	58年 6月末	9月末	12月末	59年 3月末	(予測) 6月末	(予測) 9月末
製造業	0.3	$\Delta 0.3$	$\Delta 1.8$	$\Delta 2.4$	$\Delta 4.5$	$\Delta 4.9$
非製造業 (除く電力)	2.3	0.7	1.8	2.3	0.3	0.7
全産業 (除く電力)	1.2	0.1	$\Delta 0.3$	$\Delta 0.4$	$\Delta 2.5$	$\Delta 2.6$

2. 中小企業

(業況判断)

製造業の業況判断D. I.は、木材・木製品、窯業・土石等を除き順調な改善が続いており、全体としては「悪い」超幅がほぼ解消した(「良い」―「悪い」社数構成比、58年11月 $\Delta 15\%$ →59年2月 $\Delta 10\%$ →5月 $\Delta 1\%$)。一方、非製造業も卸売、運輸・倉庫を中心に徐々に持直しをみている(同、58年11月 $\Delta 14\%$ →59年2月 $\Delta 11\%$ →5月 $\Delta 5\%$)。ただ、建設の回復が遅れ気味となっているほか、サービスも外

食、レジャー等を中心に一進一退の動きにとどまっている。なお、先行き9月にかけては製造業、非製造業とも引続き改善が期待されている。

中小企業の業況判断 D.I.

(「良い」-「悪い」%、()内は1期前調査時予測)

	58年 5月	8月	11月	59年 2月	5月	(予測) 9月ま で
製造業	(△33) △28	(△21) △23	(△14) △15	(△13) △10	(△3) △1	3
食料品	2	△3	1	0	(1) △1	3
繊維	△33	△25	△24	△18	(△9) △4	0
木材・ 木製品	△32	△25	△24	△38	(△23) △35	△22
パルプ・紙	△22	△22	△11	△3	(0) 4	6
化学	△21	△17	△7	△2	(8) 0	2
窯業・土石	△37	△40	△29	△18	(△15) △14	△17
鉄鋼	△62	△52	△33	△17	(0) 1	8
非鉄金属	△36	△15	3	7	(13) 20	16
金属製品	△36	△35	△20	△10	(△4) 1	6
一般機械	△46	△41	△29	△20	(△3) △6	4
電気機械	△7	15	22	27	(34) 41	37
輸送用 機械	△33	△23	△22	△20	(△15) △7	△9
精密機械	△29	△28	△18	7	(16) 13	20

	58年 5月	8月	11月	59年 2月	5月	(予測) 9月ま で
非製造業	(-) △12	(△11) △14	(△8) △14	(△6) △11	(△4) △5	△2
建設	△10	△14	△14	△14	(△19) △9	△10
卸売	△17	△20	△17	△15	(1) △7	1
小売	△8	△12	△16	△11	(△5) △4	△1
不動産	△9	△5	△11	△5	(5) 13	18
運輸・倉庫	△31	△22	△15	△11	(△11) △6	△10
サービス	4	0	△3	0	(1) △1	0

(売上げ)

製造業の59年度上期売上げは、電気機械、一般機械など加工業種を中心に2月調査比上方修正され、引続き伸長が見込まれている(前年比、58年度下期+7.8%→59年度上期+7.4%)。また、非製造業でも、卸売を中心に59年度上期にかけて緩やかな回復が予測されている(同+3.5%→+5.8%)。

中小企業の売上げ

(前年比増減(Δ)率%)

	58年度 上期	58年度 下期	59年度上期(計画)	
			2月調査→5月調査	2月調査 比修正率
製造業	1.0	7.8	5.9→7.4	(+1.4)
非製造業	Δ 0.4	3.5	5.6→5.8	(+0.2)

(企業収益)

製造業の59年度上期経常利益は、58年度下期(前期比 +37.3%)に続いて増益(同 +9.5%)の見込みとなっている。この間、非製造業では、季節的な要因をならしてみれば59年度上期も引続き回復傾向が予測されている(前年比、58年度下期 +6.6%→59年度上期 +16.5%)。ただ、2月調査時点からは幾分下方修正をみている。

中小企業の経常利益

(前期比増減(Δ)率%、< >内は前年比増減(Δ)率%)

	58年度 上期	58年度 下期	59年度上期(予測)	
			2月調査→5月調査	2月調査 比修正率
製造業	9.6	37.3	12.7→ 9.5	(-3.4)
非製造業	<Δ 2.0> Δ31.6	< 6.6> 55.8	Δ15.8→Δ25.2	(-4.7)

(設備投資)

製造業の59年度設備投資計画は、設備不足感が電気機械、精密機械に続いて多くの業種に広がる中で、2月調査に比べ大幅に増額修正され、5月時点の計画としては49年の調査開始以来初めて前年を上回る水準となっている(+8.7%)。一方、非製造業も、主として卸売で2月調査比増額修正はみているものの、建設、小売を中心に依然前年度をかなり下回る計画にとどまっている(Δ11.6%)。

中小企業の生産設備判断D. I.

(「過剰」-「不足」、%)

	58年 5月	8月	11月	59年 2月	5月	(予測) 9月まで
	製造業	12	10	6	2	Δ 2

中小企業の設備投資計画(工事ベース)

(前年度比増減(△)率%)

	58年度	59年度(計画)	
		2月調査→5月調査	2月調査 比修正率
製造業	10.9	△14.5→ 8.7	(+29.5)
電気機械	58.8	10.2→ 48.5	(+33.1)
非製造業	△24.2	△23.8→△11.6	(+16.3)
卸売	44.0	△45.4→△14.0	(+99.4)
小売	△10.3	△43.8→△41.6	(- 4.2)
建設	△29.0	△37.0→△47.9	(+ 8.1)
中小企業計	△14.7	△20.6→△ 4.4	(+21.4)

(雇 用)

雇用面では、製造業の雇用者数は徐々に持直しをみている(前年比、58年12月末+0.2%→59年3月末+0.9%→6月末+1.7%)。これに対し非製造業は多くの業種で引続き伸び悩んでいる(同△0.5%→△0.1%→+0.1%)。

中小企業の雇用人員判断D. I.

(「過剰」-「不足」、%)

中小企業の雇用人員

(前年比増減(△)率%)

	58年 5月	8月	11月	59年 2月	5月	(予測) 9月ま で
製造業	12	10	3	△1	△2	△2
非製造業	4	6	0	△5	0	△4

	58年 9月末	12月末	59年 3月末	(予測) 6月末	(予測) 9月末
製造業	△0.7	0.2	0.9	1.7	1.8
非製造業	n.a.	△0.5	△0.1	0.1	0.9
中小企業計	n.a.	△0.2	0.3	0.7	1.2

(企業金融)

なお、資金繰りに関する判断は、売上げの回復等を背景に、製造業、非製造業とも緩やかな改善傾向が続いている。

中小企業の企業金融関連判断D. I. (全産業)

(%)

	58年 5月	8月	11月	59年 2月	5月
資金繰り判断 (「楽である」-「苦しい」)	△14	△12	△11	△9	△6
金融機関の貸出態度判断 (「ゆるい」-「きびしい」)	20	23	22	23	24